

# 威勢いい声会場に響く

## 少林寺拳法 親子で初稽古 茨城つくば道院

少林寺拳法IIメモ参照IIで、全国有数の規模となる約100人が所属している茨城つくば道院は9日、新年初稽古(けいこ)を行い、親子を中心とした拳士約50人が汗を流した。

初稽古となった9日、しい一年が始まりまは、道院長の瀬戸裕直(すえひろなお)が「また新

さん(66)が「また新目標を作り、練習に励んでほしい」などといさづ。練習メニューは通常と同じように、準備運動の後に聖句などの鎮魂(ちんこん)を行い、基本練習で体を温めた後は年齢や成熟度で分かれクラス別に型や技の練習を行った。



親子でランニングする参加者=つくば市内

会場では、拳士から「今年もよろしくお願ひします」などのあいさつが方々で聞こえ、礼を重んじる少林寺拳法ならではの光景が広がった。練習では威勢のいい声が響き、幼稚園の頃から通っているという古賀愛依子(あいのこ)さん(つくば市東小3年)



練習に励む黒帯拳士=同

ふだんの稽古は、毎週水曜日と土曜日につくば市小野川の茨城つくば道院などで行っている。

も子どもと共通の話題を持ち、成長を見守れるのはプラスに働いているようだ。瀬戸道院長によると、転勤してつくばにきた研究者などが、以前通っていたからと、入門してくるケースも多いという。県内には少林寺拳法を教える道院などが約50団体ある。

## 日本有数の所属拳士100人

同道院の正式名は金剛禅少林寺拳法茨城つくば道院で、2006年に設立され、10年目の節目の年を迎えた。

所属拳士は一般約50人、小学生以下約50人で全国でも有数の規模を誇っている。特徴は親子の参加者が多いことで、約30組の親子が在籍しているという。子どもには、親の頑張る姿がたくましく映り、親にとって

多いこと、約30組の親子が在籍しているという。子どもには、親の頑張る姿がたくましく映り、親にとって

多いこと、約30組の親子が在籍しているという。子どもには、親の頑張る姿がたくましく映り、親にとって

多いこと、約30組の親子が在籍しているという。子どもには、親の頑張る姿がたくましく映り、親にとって



記者のつぶやき

稽古を見学していると、あいさつとして交わされる言葉が多いのに気づいた。スポーツを通じたコミュニケーションとして完成しているように見えた。親子で通う人が多いというのも納得できる雰囲気だ。しっかりとした理念を持った人が代表を務める団体が、静かに熱を出しているというのがつくば(特に学園地区)のイメージ。例えば高温を発しそうな所も似ている。つくばに住んで半年程度だが、すごく面白い街だと思っ

面白く思っている。(山本一暁)

memo 少林寺拳法 1947年に宗道臣さんが創始。護身の技術で剛法(突きやけり)や柔法(関節技)などで成り立っている。人づくりの手段としての側面が強く、拳士には自己確立と自己共築の理念が自然に身につくという。大会等では拳を交えて勝敗を決する方式ではなく、二人一組で行う組演武などの完成度を競う。



基本練習を行う子どもら=同



基本練習を行う参加者ら=同



## 紙面掲載写真を販売します。

常陽新聞紙面に掲載した写真をプリントして販売します。原則として本人または家族からの申し込みに限り、希望のサイズで受け付けます。定期購読者は販売定価の20%を割引きます。同一物2枚以上の場合の割引もあります。

キャビネサイズ	六ツ切り	ワイド六ツ切り	四ツ切り	ワイド四ツ切り
127mm×178mm	203mm×254mm	203mm×305mm	254mm×305mm	254mm×368mm
1,000円	2,000円	2,500円	3,000円	3,500円

※販売価格は税別です。弊社窓口で手渡します。配送の場合別途送料が必要です。

写真のデータは提供できません。弊紙記者が撮影したものに限りです。

お問い合わせ 紙面掲載写真販売係 〒305-0031 つくば市吾妻3-10-13 つくば文化ビル1F 常陽新聞株式会社 TEL:029-869-9800(代) FAX:029-869-9836 公式ホームページ http://joyonews.jp